

まちづくり ニュース



ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Icho/3732/>

103号

2008年11月11日



ときわ台の景観を守る会

ときわ台まちづくり委員会

代表 鈴木博之 近藤洋子

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

協力金振込先 郵便局00110-3-739728 ときわ台の景観を守る会

○ 図書館には手すりが付いたのに — 提案者は逝去 —

中央図書館に手すりをつけてほしいというご意見を「まちづくりニュース」編集部に寄せてきたのは、1丁目のYさんという女性でした。お陰でいま中央図書館の1階から2階にかけて掴みやすい手すりが付きました。何人もの方が図書館の利用のたびに助かっているのではないかと思います。

しかし、偶然わかったことですが、残念ながら提案者のYさんは、今年の夏に亡くなっていたのです。実現のお知らせもできませんでした。

Yさん、有難うございました。何人もの足の悪い人やお年寄りがあなたのお陰で、恩恵を受けることになったのを喜んでください。

♪ 教会に響くバロック ♪

十一月二十二日(土) 一時半(一時開場)

於 常盤台バプテスト教会

演奏 新東京アカデミー室内合奏団
指揮・主催 松原広地
後援 ときわ台まちづくり委員会

全自由席 前売り一八〇〇円(当日二千円)
お問い合わせ 松原 03・3960・1449
合せ 島田 03・3960・3869

○ お手盛りの多い板橋区

週刊広報「いたばし」10月25日号の第一面に、平成20年度の「行政評価」のお知らせが載っている。

実物は例年区役所2階の資料室や各図書館にあるから、是非一覧することをお薦めしたい。

評価というものは、外部が下すものであるが、板橋区ではどうも勘違いしているらしい。わざわざ、評価に客観性と公正性を持たせるため外部評価を導入した、などと言っていることから良くわかる。第三者評価機関と言うが、学識経験者(恐らく御用学者)と公募区民(恐らく区に依頼された一人か二人の少数区民)の6人で構成される「板橋区行政評価委員会」なるものが作り上げる評価結果なのであるから、普通の区民からのまっとうな評価が反映されているわけが無い。

こういうお手盛りが板橋区は特に好きなようで、区民懇談会と称するものも、各町会から予め提出された質問内容に沿って、用意された答弁を区長やお役人が述べるだけの形式的なものだ。本当に一般区民の要望や困難を解決して行こうとする姿勢とか意気とかが感じられないのだ。中には良心的な行政人もいるとは思いますが、そういう人たちはおそらく今の状況では、片隅に追いやられているのではないかと思います。

○ バザーがあります

麻生太郎さんが「解散はボクちゃんが決めるの！」と政権にしがみついているので、全く予定が立たないのですが、総選挙の日にバザーがあります。

むかしばなし(33)

— ローターリーのバラック (2) —

駅前ロータリーを占拠していたバラック建ての小屋では、色々な人たちが色々な商売をやっている、闇市もあったかと思えますし、古着屋があつたという人もいます。

でも今六十代・七十代の元子どもたちには、駄菓子屋やその他、子供向けのお店が印象深く思い出されます。

キャンデーも売っていたし鼈甲飴やちよつきり飴もありました。男の子たちには模型飛行機が大人気。メンコやビー玉は当然で、野球選手のブロマイドが、新聞紙の袋に入っている感じがっており、二十銭とか五十銭とかで引くと、誰か手に入るか分からないところは障子破きと同じです。一番嬉しかったのは巨人十六番の川上哲治だったとか。女の子向きにはおはじきの玉・塗り絵・色付きの麦わらを編んだなどが売られていました。

また、カルメ焼きという、玉じやくしの中で砂糖を熱し、重曹を加えてふくらましたお菓子や、ポンせんべいと言って、お米を圧力をかけながら焼いたものなどが、塩味で美味しかったものです。おばさんが軍手をはめた手で焼いていました。

子供用のパチンコもありました。ただ、一個ずつ玉をはじいて穴に入るかどうか見守るだけの他愛ないものでしたが、教育上、面白くないことと思われたかもしれませぬ。

K・T

東京大学鈴木亮研究室

常盤台を調査の予定

来る十一月十八日(火)、東京大学社会文化環境学の鈴木亮教授が学生三人を連れて、常盤台の建築紛争とまちづくりについて、調査に来る予定。タカラレーベンや藤和のマンションの現場、景観重点地区の街並みを見て歩く。外部から来た人たちは、かならず低層住宅の街の心地よさを褒めてくれるが、私たち自身が十分に自分達の街の重要性を認識していないように思う。果たして初めて訪れる常盤台を、学生達はどう思うだろうか。

まだまだ悪い愛犬家のマナー

秋日和を楽しみながら散歩していたら、ぬるっとした感触で靴がすべった。犬の糞を踏んでしまったのだ。周りにはなんと三、四ヶ所に糞が積もっている。何匹もの犬のものだ。ここは犬のトイレになっていたのか。二丁目の並木道から線路側へ分れて並木が続く所である。この近所の人たちの苦勞が察せられる。他人の犬の汚物の始末をしなければならぬとは。後始末のできない人たちは犬を飼う資格は無いと思ふ。

常盤台公園の花づくり

朝霧草と紫宝花のこと

今は秋なので花は終わってしまいました。電話ボックスのそばに、白蝶花と並んで紫色のきれいな一日花を付ける植物があるのを覚えていませんか。Mさんが図書館側の空気に植えてくれた時、一緒にあつた朝霧草というきれいな名前の草とごちゃ混ぜになってしまい、しばらくは人に尋ねられるとアサギリソウです!と胸を張って答えていました。ごめんなさい、間違いでした。本当はシホウカという名です。紫宝花と書き、紫宝華とも書くそうです。アサギリソウの方は地味な葉っぱ勝ちの植物でした。

青桐の実

アオギリの実が落ちています。レースのように葉脈だけになった船形の葉のへりに、危なっかしく、二つか三つの丸くて硬い直径8ミリぐらいの茶色の実がくっついていきます。どこからこんな船みたいなのが?とびっくりしますが、上のほうでは房のようにたくさんぶら下がっているのが見つかります。桜の葉も紅葉し、公園はすっかり秋の色です。

定例会

十二月十三日(土) 七時

一・二丁目町会事務所